

### 第3回 佐渡市地域公共交通活性化協議会

#### <議 事 要 旨>

会議名称	平成23年度 第3回 佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成24年2月15日(水) 13:30～
開催場所	両津総合体育館2階会議室
議題	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 報告 平成23年度事業報告について 4. 議事 (1) 平成24年度事業計画及び予算(案)について (2) 計画事業に事後評価について (3) その他 5. 閉会
会議資料	■議事次第 ■協議会委員名簿 ■議事資料 資料1. 平成23年度事業報告について 資料2. 平成24年度事業計画及び予算(案)について
公開・非公開の別	公 開
出席委員	高野委員、石塚委員、廣川委員、後藤委員、中川(音)委員、川本(礼)、菊池(サ)委員、天澤委員、富永委員、幸委員(代理:高橋委員)、木村委員、本間委員、鈴木(興)委員、矢部委員(代理:松苗委員)、大桃委員(代理:川上委員)、加藤委員、野口委員、浅井委員、田中委員、松本委員
欠席委員	小島委員、柳委員、中川(治)委員
事務局	[佐渡市 交通政策課] 渡邊、計良、池、中川

1. 開会

2. 会長挨拶

会長：佐渡市長 高野宏一郎よりあいさつ

3. 報告

○資料1「平成23年度事業報告について」を用い、事務局より平成23年度の実施事業について報告。

【質疑応答】

○質疑なし。

4. 議事

(1) 平成24年度事業計画及び予算(案)について

資料2「平成24年度事業計画及び予算(案)について」を用いて、事務局より平成24年度の事業計画及び予算(案)について説明がなされ、その内容について協議会より承認を得た。

【質疑応答】

・全体について

□松本委員

平成23年度の実績報告中にあった事業の中で病院乗入れのサービスや学生の割引サービスは平成24年度の事業計画にない。学生割引については利用が多くなかったものでやめるということは分かるが、病院への乗入サービスについては利用があるので、継続する予定はないのか。

□事務局

病院への直行便・乗入れサービスについては75歳以上の高齢者割引サービスと併せて継続したいと考えている。学生の割引サービスについては今後の分析を通じて継続かどうか検討するが、今のところ実施予定はない。

・乗合タクシーの運行について

□松本委員

乗合タクシーの運行について、河崎方面対象エリアについては登録されている人は

多いが、現在の利用状況を見るとあまり利用は多くない。利用状況を見ると 1 便に 1 人という利用が多くなっている。他都市の事例を見ると 1 つの便を 2,3 人が利用する乗り合いでの利用は難しいという実態があり、他都市でも乗り合い利用は進んでいない。乗り合いということを追求するよりも、利用者や利用回数を増やすという取り組みが大切だと考える。時刻表では対象エリアを回って移動するためエリア内で 15 分程度の時間がかかるとしている。現実には利用は 1 人なので、時刻表にあるようなエリア内を回っての運行は現実には起きにくい。他都市の事例では到着時刻を〇時〇分から〇時〇分くらいと幅を持たせるような到着時刻をぼかした表現をしている例もある。時刻表の表現についてもう少し工夫した表現をしてもらいたい。このままでは路線バスのように、このダイヤで運行するというような印象を与えてしまい、利用しないという方いるのではないかと思う。

□事務局

配布用のパンフレットには目安の時刻として乗せている。

□廣川委員

パンフレットにある時刻表の表記については、場合によっては事務局と相談して、指摘のあったように、路線バスのように決まった時間に動くという誤解を与えない表現や最終的にはこれぐらいの時刻に到着予定であるというような表現に変更したいと考えている。今回は路線バスのような時刻表記にしすぎたと感じており、今後事務局と相談したい。

□後藤委員

乗合タクシーの運行ルートについて、住民のニーズに合っていないのではないかと感じる。両津病院については通院利用があるかと思うが、1 ヶ月に 1 回か 2 回程度しかなく、普段の利用については買い物が主となる。私も両津に住んでいるが、現在の運行ルートにある夷本町等に来て買い物に来ることはほとんどなく、日常の買い物については大型商業施設を利用することが多い。今年は積雪もあり、運転が怖いという高齢者もいると思うが、本来実績を上げなければいけない状況下においても現在の運行区域のままでは、社会実験全体を通じての利用者数は少ないのではないかと思う。

本来行きたいところに運行されていないというのが現状だと思うので、交通弱者に利用してもらいたいというのであれば、夕方 1 便でも買い物のため商業施設へ運行するなど検討してはどうか。

□事務局

乗合タクシーの運行目的は交通空白地域への対応であり、夷町等に来れば既存の路線バスが運行しているため、運行ルート以外の場所に行きたい場合は路線バスに乗り換えて移動してもらいたいと考えている。

補足として、運行に当たって住民に対して説明会を行ったなかで、商業施設にいきたいと要望も中にはあったが、利用の少ない現状で見直しを行うには時期尚早でない

かと考えもあり現在の運行ルートとしている。

□高野委員

サンプル数が現在のままでは少ないので今後周知を図ってもらい、利用してもらったうえでニーズを把握してもらいたい。

□事務局

現在、利用者が少ないので、今後利用する確率が最も高い現在サービス利用登録されている方に呼び掛けを行っていく。また、乗って見ないと良さが分からないということも考えられるので無料体験等を実施して周知に努めていきたい。

□浅井委員

乗合タクシーのルートについては買い物への対応なのか、両津の中心市街地の活性化なのか目的が色々あるかと思うが運行の目的に応じて、市民のニーズにあったルートの検討を進めてもらいたい。

□事務局

乗合タクシーについては今後利用者にアンケートを実施する予定であるので、その結果を通じて検討を進めていきたい。

□松本委員

乗合タクシーの運行時刻だけでなく、接続する路線バスについても情報提供が必要である。

□事務局

パンフレットに接続するバスの情報を掲載し、分かりやすい情報提供を進めていく。

・観光二次交通について

□浅井委員

観光二次交通について、トキの森シャトルを減便するとしているが、実績報告をみると利用が増加傾向にあるとでている。観光二次交通の中でも利用が他の路線よりも多い路線であり、利用がある路線を何故減らすのか理由を詳しく教えていただきたい。

□事務局

平成24年度からトキの森シャトルについては新潟交通佐渡線による本格運行という扱いになる。社会実験でなく本格運行という形になるため持続可能な運行を図ることを目的に今回これまで、カーフェリーやジェットfoilの各便に対応して運行していた運行便を集約している。

□浅井委員

これまで各便に対応して運行していたものを集約することで、乗客の取りこぼしが発生することはないのか。

事務局

新潟交通佐渡とも協議した結果、集約しても対応が可能であると考えている。

・75歳以上路線バス割引サービスについて

本間委員

平成24年度から6カ月に期間が延長されるがその表記はどのようになるか。

事務局

資料2に掲載しているパンフレットの案にある様な券のイメージのように前半、後半の利用期間の月を表記するなどの対応を考えているが、加えて期間によって色を変えるなど高齢者に分かりやすい表記にしたい。

(2) 計画事業に事後評価について

資料事前配布のため説明を省略

【質疑応答】

質疑なし

(3) その他

事務局

今後の乗合タクシーの周知について、集会等で住民の皆さんが集まる機会があれば我々が出向いて説明をさせていただきたいと考えているので情報提供をお願いしたい。

大桃委員

免許返納制度に関連して、現在羽茂地区でモデル事業として実施している、免許返納した高齢者に対してシニアカー購入の助成金をだす事業について、全市的な実施をお願いしたい。

高野委員

次期市長に申し伝える。

本間委員

除雪に関して、除雪の計画の会議が市と県で行われると思うができれば、その会議に我々も参加させていただきたい。朝、両津高校周辺は積雪によってバスが通行できないなど課題がある。事業者の立場から除雪に関して意見をお伝えしたいと考えている。

鈴木委員

両津高校周辺の除雪については現在対応中である。近日中には作業が完了する予定である。

5. 閉会

松本副会長より閉会のあいさつ

以上

【会議の状況】

